

全日本大学準硬式野球東西対抗日本一決定戦甲子園大会 選考基準

- 1 本大会趣旨を熟知の上、趣旨に相応しい行動ができる人物であること
- 2 本連盟の理念である「学業とスポーツの両立」に相応しく大学準硬式野球を代表する人物であること
 - ① 学業の基準について、「成績不良」で活動停止になっていないこと。
 - ② 選手のスポーツ基準について、以下の項目のいずれかに該当する者が好ましい。ただしこの限りではない

リーグ戦等のベストナインまたは次点者、それに準ずる者（以下参考基準参照）

投手：オーバースローの場合は140km以上、サイドスローは135km以上、アンダースローは130km以上である者（左投手は右投手の基準から5km減とする）

捕手：二塁送球する場合、捕球から二塁到達まで2秒以内で送球できる者

野手：スイングスピードが130km以上である者

走塁：二塁盗塁がスタートからベース到達までに3.50秒以内で走れる者

一塁駆け抜けが右打者の場合、4.3秒以内 左打者の場合4.2秒以内で走れる者

その他：上記項目以外で特筆すべき技能を持つ者
 - ③ マネージャー・スコアラーのについて、以下の項目に該当する者が好ましい。ただしこの限りではない
 - ・スコアが正確且つ素早く記入できる者
 - ・監督・コーチ等が指示する前に必要なことを考え自主的に行動できる者
 - ・チームのケアが素早くできる者
 - ④ 審判のスポーツ基準について、以下の項目に該当する者が好ましい。ただしこの限りではない
 - ・アマチュア野球規則委員会による公認審判員の資格を有する者
 - ・リーグ戦等において、数多くの試合を経験している者
 - ⑤ トレーナーのスポーツ基準について、以下の項目に該当する者が好ましい。ただしこの限りではない
 - ・トレーナー資格を有する者
 - ・トレーナー資格を有するために、大学で専攻している者
 - ⑥ ボールパーソンの基準について、以下の項目に該当する者が好ましい。ただしこの限りではない
 - ・各地区において学生委員長または学生役員等を経験した者
- 3 選考に際して、万が一人物・技術共に同じ基準で判断しかねる場合、高校時代に甲子園のベンチ入りを果たせなかった者及び前回大会までに選出されていない者を優先とする